

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	仏語演習		
英文授業科目名	Intermediate French		
開講年度	2004年度	開講年次	2年次
開講学期	3学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化演習科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	小林 真紀子（学内連絡教官 原 和之）		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ

<b>【主題および達成目標】</b>
仏語第一、第二で学びきれなかった文法事項（条件法、接続法、直説法単純過去など）を終え、フランス語の読解能力をさらに高め、聴き取り、和文仏訳、会話の能力も向上させること。

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
仏語第一、仏語第二

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>

<b>【教科書等】</b>
教科書：中山真彦、杉山利恵子著『ボンジュール・パリ（3訂版）』（白水社） 仏和辞典：『ディコ仏和辞典』（白水社）/『クラウン仏和辞典』（三省堂）/『プチ・ロワイヤル仏和辞典』（旺文社）/『プログレッシブ仏和辞典』（小学館）/『ロワイヤル仏和中辞典』（旺文社） 電子辞書： SR-T5020（セイコーインスツルメンツ、『プチ・ロワイヤル仏和辞典』収録）/XD-H7200, XD-L7250（カシオExword、『クラウン仏和辞典』収録）]

## 電気通信大学 平成16年度シラバス

### 【授業内容とその進め方】

ビデオやカセットテープ等を使用しながら進めます。受講者のレベルによっては、10課までは文法事項の説明は省略し、本文と練習問題のみ、11課以降は時間をかけて進めます。

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

評価方法：平常点（小テスト、課題など）40%、期末試験60%程度。  
評価基準：フランス語の基礎をマスターし、ある程度自力でフランス語の読解ができるようになっていること。

### 【オフィスアワー：授業相談】

特に設けない。質問等は電子メールで受け付ける。

### 【学生へのメッセージ】

よく出席し、予習、復習に十分時間をかけてください。辞書は原則として授業が始まる前に引いておいてください。

### 【その他】